

未来を創造する皆さんへ

先月12日、にかほ市成人式が行われました。私にすれば保育園の頃から見ている子どもたちがいつの間にか、男の子は髭が生えるほどの男性に、女の子は艶やかさの中に優美さもあわせ持つ女性へと成長し、涙腺

が緩む思いがしました。今回のコラムは、式辞を通して私が大人の仲間入りをしたこの若者たちに、伝えたかった熱い想いを記載させていただきます。

■成人式での式辞（要旨）

（前段省略）

既に皆さんも知っていることとは思いますが、昨年6月に東洋経済新報社が発表した全国「住みよさランキング」において、にかほ市が北海道・東北ブロックで堂々の第1位になりました。

その前の1月に宝島社が発表した「住みたい田舎ランキング」でも、にかほ市が東北ブロックで第6位になっていました。更に、今年1月に発表された2020年版「住みたい田舎ランキング」では、昨年よりも2つ順位をあげて東北ブロック第4位となりました。

このように、にかほ市は、「住みよさ」において高い評価を獲得できる地域です。ぜひ皆さんにもふるさとに自信を持ってもらいたいですし、あわせて今まで以上にふるさとを愛してもらいたいと思います。

さて、私はいろいろな式典で、フランスの小説家ジュール・ベルヌの言葉、「人間が想像するものは人間が必ず実現する」を紹介しています。空想の世界であったドラえもんの道具、たとえば自動翻訳機はすでに商品化されていますし、タケコプターもドローンが実現しようとしています。

先日、県立大学で開催したIoT公開セミナーでもこの言葉を紹介しました。すると、日本IBMから来られた講師の先生が付け足しで次のような話をされました。

「問もなく実現するドラえもんの道具はテレポーテーション（瞬間移動）です」と。会場中が「えっく!?」となりました。

もつとも先生にもちゃんとオチはあり、「人間の身体そのものが瞬間移動することはありません。要はプログラム技術の進歩です。」という

ものでした。

考えてみてください。今あなたの隣にいる人は存在せず映像かもしれないのです。つまり、仮想と現実の区別がつかないほどの技術が現実化しているのです。

「データは21世紀の石油」と言われています。政府は、2020年をデジタル元年と位置づけ、世界的なデジタル革命の波に乗り遅れまいと必死になっています。先程紹介したホログラムを可能にしてくれるのもデジタル革命を象徴する高速・大容量の5Gのおかげです。

人間は想像したものを必ず実現させてきました。その上で言いたいのは、想像するためには知識が必要ということ。なぜなら、知らない事を思い描くことはできないからです。だからこそ来るべき未来を創造する皆さんには多くを学んでもらいたいのです。



にかほ市長
市川雄次

